

はじまる前にご連絡

- ・どうぞ好きな席にお座りください
- ・写真の撮影NGの方がいたらスタッフまでお声かけください
- ・お飲み物、お菓子、資料コーナーなどご自由にご利用ください
- ・開始時間までご自由にリラックスしてお過ごしください
- ・こどもたちへ今日来てくれてありがとう！



遠浅地区の未来を考える まちづくりカフェとあさ



令和7年2月8日（土）14:30-16:30
遠浅地区協働実行プラン策定委員会

オリエンテーション



まちづくりカフェとあさ 予定

- 1 9/3 概要の説明と話したいテーマ意見出し
- 2 9/19 テーマ【交流】について話そう
- 3 10/5 テーマ【生活支援】について話そう
- 4 12/10 計画案について話そう
- 5 2/8 計画案を具体的に話そう
- 6 3/1 計画案のお披露目会！

本日の流れ

- 1.オリエンテーション
- 2.参加者同士で自己紹介
- 3.前回の振り返り
- 4.プラン案の説明
- 5.テーマ別にグループで話そう
- 6.クロージング



参加者同士で自己紹介

- ①お名前・普段していること
- ②いまの気分や体調は？
- ③バレンタインデーの思い出、エピソード！？



こんなワークショップいいなあ

1回目振り返り

みんなで実現していこう！

"手作りお菓子がある
コーヒーがある"

"お弁当食べながら
色々話し合う
お酒付き"

楽しい時間を過ごせたら、又来たいです。
とっても役に立ちそうな気がする

"子連れで来られる
いろんな世代"
おいしい物があれば♡
だがしや

お酒があればいいな—
多様性を大事にした話し合いが進行される事
誰かと一緒に何かを作ってあそんだり、食べた
り、おしゃべりがしたい

みんなとふれあってともだちいっぱい！

気軽に来れる場所
意見、発言しやすい
交流ができる

気軽に集まる場所
老若男女いろんな人の意見がたくさん聞
けたらいいですね！！

カフェ、スイーツ等のワークショップが
あれば…
日本各地のおいしい食べ物の説明と味見
ができるワークショップ
楽しい事が出来る所があるといい
"みんなが集まれるカフェがしたい。
だれでも遠浅公民館で集まり出来たらい
いな…"
高齢者が集える場がほしい
おにぎりがほしい

12月10日第4回目でした

前回の振り返り



子供×シニア

生活支援		2-1.子育て世代	2-2.シニア世代
<p>それぞれの世代が今と将来に不安を抱えている</p> <p>子ども世代 ①放課後の子供の居場所、預ける場所、遊び場所の確保する ②公民館付近の通学路の安全確保 ③自治会を越えた情報共有</p> <p>子育て世代 ①地域で活躍するため無理のない範囲での役割づくり ②子どもの相談や預かる場所がない、情報を得るシステムが必要(特に若い単身者、ノーザン、遠浅市街と遠浅で情報格差)</p> <p>シニア世代 ①デマンドバスのほか交通手段の確保 ②健康問題や生活の不安に関するサポート ③高齢者宅の除雪が中高生のマンパワーで実現</p> <p>2-3.全世代において ①現在使用されていない施設の再利用(旧保育所・公民館の裏通達小学校など) ②熊の被害防止対策の検討や駆除しない形での共存、教育など ③子供の預かり、緊急時の対応など互いの世代での問題をマッチングして解決できるような方法を検討する</p>		<p>世代に関わらず、安心して遠浅地区で過ごすための環境作り</p> <p>年を取っても安心して暮らせる地域</p> <p>遠浅地区で完結できるくらい</p> <p>気を使わない、使わせない関係づくり</p>	<p>2-4.全世代において ①現在使用されていない施設の再利用(旧保育所・公民館の裏通達小学校など) ②熊の被害防止対策の検討や駆除しない形での共存、教育など ③子供の預かり、緊急時の対応など互いの世代での問題をマッチングして解決できるような方法を検討する</p>

子供×シニア

生活支援		2-1.子育て世代	2-2.シニア世代
<p>それぞれの世代が今と将来に不安を抱えている</p> <p>子ども世代 ①放課後の子供の居場所、預ける場所、遊び場所の確保する ②公民館付近の通学路の安全確保 ③自治会を越えた情報共有</p> <p>子育て世代 ①地域で活躍するため無理のない範囲での役割づくり ②子どもの相談や預かる場所がない、情報を得るシステムが必要(特に若い単身者、ノーザン、遠浅市街と遠浅で情報格差)</p> <p>シニア世代 ①デマンドバスのほか交通手段の確保 ②健康問題や生活の不安に関するサポート ③高齢者宅の除雪が中高生のマンパワーで実現</p> <p>2-3.全世代において ①現在使用されていない施設の再利用(旧保育所・公民館の裏通達小学校など) ②熊の被害防止対策の検討や駆除しない形での共存、教育など ③子供の預かり、緊急時の対応など互いの世代での問題をマッチングして解決できるような方法を検討する</p>		<p>世代に関わらず、安心して遠浅地区で過ごすための環境作り</p> <p>年を取っても安心して暮らせる地域</p> <p>遠浅地区で完結できるくらい</p> <p>気を使わない、使わせない関係づくり</p>	<p>2-4.全世代において ①現在使用されていない施設の再利用(旧保育所・公民館の裏通達小学校など) ②熊の被害防止対策の検討や駆除しない形での共存、教育など ③子供の預かり、緊急時の対応など互いの世代での問題をマッチングして解決できるような方法を検討する</p>

子育て×シニア

子育て×シニア

生活支援

それぞれの世代が今と将来に不安を抱えている

- 子ども世代
 - ①放課後の子供の居場所、預ける場所、遊び場所の確保
 - ②公民館付近の通学路の安全確保
 - ③自治会を超えた情報共有

- 子育て世代
 - 育児の相談や預かる場所がない、情報を受け取るシステムが必要(特に若い単身者、ノーザン、遠浅市街と遠武で情報格差)

- ミドル世代
 - 地域とのかかわりがもてない

- シニア世代
 - 移動手段がない・健康問題・除雪が困難

2-1. 子育て世代

- ①放課後の子供の居場所、預ける場所、遊び場所の確保
- ②公民館付近の通学路の安全確保
- ③自治会を超えた情報共有

2-2. ミドル世代

- ①地域で活躍するための無理のない範囲での役割づくり

2-3. シニア世代

- ①デマンドバスのほか交通手段の確保
- ②健康問題や生活の不安に関するサポート
- ③高齢者宅の除雪が中高生のマンパワーで実現

2-4. 全世代において

- ①現在使用されていない施設の再利用(旧保育所・公民館の裏遠浅小学校など)
- ②熊の被害防止対策の検討や駆除しない形での共存、教育など
- ③子供の預かり、緊急時の対応など互いの世代での問題をマッチングして解決できるような方法を検討する

2-5. 情報受発信「とあサークル」をつくる

- ①公民館使用やイベント、必要な暮らしの情報などを受発信する

世代に関わらず、安心して遠浅地区で過ごすための環境作り

- 年を取っても安心して暮らせる地域
- 遠浅地区で完結できるくらい
- 気を使わない・使わせない関係づくり

生活支援

それぞれの世代が今と将来に不安を抱えている

- 子ども世代
 - ①放課後の子供の居場所、預ける場所、遊び場所の確保
 - ②公民館付近の通学路の安全確保
 - ③自治会を超えた情報共有

- 子育て世代
 - 育児の相談や預かる場所がない、情報を受け取るシステムが必要(特に若い単身者、ノーザン、遠浅市街と遠武で情報格差)

- ミドル世代
 - 地域とのかかわりがもてない

- シニア世代
 - 移動手段がない・健康問題・除雪が困難

2-1. 子育て世代

- ①放課後の子供の居場所、預ける場所、遊び場所の確保
- ②公民館付近の通学路の安全確保
- ③自治会を超えた情報共有

2-2. ミドル世代

- ①地域で活躍するための無理のない範囲での役割づくり

2-3. シニア世代

- ①デマンドバスのほか交通手段の確保
- ②健康問題や生活の不安に関するサポート
- ③高齢者宅の除雪が中高生のマンパワーで実現

2-4. 全世代において

- ①現在使用されていない施設の再利用(旧保育所・公民館の裏遠浅小学校など)
- ②熊の被害防止対策の検討や駆除しない形での共存、教育など
- ③子供の預かり、緊急時の対応など互いの世代での問題をマッチングして解決できるような方法を検討する

2-5. 情報受発信「とあサークル」をつくる

- ①公民館使用やイベント、必要な暮らしの情報などを受発信する

世代に関わらず、安心して遠浅地区で過ごすための環境作り

- 年を取っても安心して暮らせる地域
- 遠浅地区で完結できるくらい
- 気を使わない・使わせない関係づくり

子育て×シニア

生活支援

それぞれの世代が今と将来に不安を抱えている

- 子ども世代
 - ①放課後の子供の居場所、預ける場所、遊び場所の確保
 - ②公民館付近の通学路の安全確保
 - ③自治会を超えた情報共有

- 子育て世代
 - 育児の相談や預かる場所がない、情報を受け取るシステムが必要(特に若い単身者、ノーザン、遠浅市街と遠武で情報格差)

- ミドル世代
 - 地域とのかかわりがもてない

- シニア世代
 - 移動手段がない・健康問題・除雪が困難

2-1. 子育て世代

- ①放課後の子供の居場所、預ける場所、遊び場所の確保
- ②公民館付近の通学路の安全確保
- ③自治会を超えた情報共有

2-2. ミドル世代

- ①地域で活躍するための無理のない範囲での役割づくり

2-3. シニア世代

- ①デマンドバスのほか交通手段の確保
- ②健康問題や生活の不安に関するサポート
- ③高齢者宅の除雪が中高生のマンパワーで実現

2-4. 全世代において

- ①現在使用されていない施設の再利用(旧保育所・公民館の裏遠浅小学校など)
- ②熊の被害防止対策の検討や駆除しない形での共存、教育など
- ③子供の預かり、緊急時の対応など互いの世代での問題をマッチングして解決できるような方法を検討する

2-5. 情報受発信「とあサークル」をつくる

- ①公民館使用やイベント、必要な暮らしの情報などを受発信する

世代に関わらず、安心して遠浅地区で過ごすための環境作り

- 年を取っても安心して暮らせる地域
- 遠浅地区で完結できるくらい
- 気を使わない・使わせない関係づくり

組織
づくり

<p>組織づくり</p> <p>住み続けたい 通達について 話し合える場</p>	<p>子ども会の運営が困難</p> <p>子供行事の参加が難しくなっている</p> <p>自治会が存在しない地域に 情報が行き届かない</p> <p>通達地区に課題がない</p>	<p>2-1 現在の組織の検討</p> <p>①自治会の課題とニーズの確認、今後の対策検討</p> <p>②子ども会の運営の検討</p>	<p>2-2 これからの新しい組織づくり</p> <p>①地域の団体などと取り組むことへの助成、得意な人とニーズをマッチングさせる取り組みの検討</p> <p>②子どもを含めた話し合いの場をつくる</p> <p>③既存の組織と一緒に話し合い、問題解決に関するアイデアを考える</p>
---	---	--	---

※その他(地域単独では解決困難であり、全体的または広域的な観点による検討が必要と思われる地域の課題など)

組織づくり

自治会に属していない人と、ふれあいを求めたい。

<p>① <u>組織づくり</u> 小規模の ありのままの コミュニティ</p> <p>② <u>地域づくり</u> 近隣の ふれあいの コミュニティ</p>	<p>③ <u>既存の組織の検討</u> -子ども会の運営が困難 -子供行事の参加が難しくなっている</p> <p>④ <u>自治会が存在しない地域に</u> -住み続けたい -通学について話し合える場 -遠慮地区に町議がない</p>	<p>⑤ <u>2-1 既存の組織の検討</u> ①自治会の課題とニーズの確認、今後の対策検討 ②子ども会の運営の検討</p> <p>⑥ <u>2-2 これからの新しい組織づくり</u> ①地域の団体などと取り組むことへの助成、得意な人々をマッチングさせる取り組みの検討 ②子どもを含めた話し合いの場をつくる ③既存の組織と一緒に話し合い、問題解決に関するアイデアを考える</p>		
---	---	--	--	--

※その他「地域単独では解決困難であり、全体的または広域的な観点による検討が必要と思われる地域の課題など」

1回目～4回目で話したことを踏まえて プラン案をさらに更新しました！

事業分野	地域の課題	実施事業	目標（将来像）
交流 遠浅のコミュニティづくり	住民同士で集まる場がなく 関係性が希薄となっている ・どの世代も集まる場所がない ・HUBがない ・情報が細部にいきわたらない ・自治会の担い手不足 ・自治会の高齢化 ・自治会に加入していないの子供会の行事参加困難 ・多世代交流の希薄さ ・シニア世代が地域に取り残される ・イベントを企画する自体が難しい ・公民館の利用の仕方がわからない ・公民館までの道が安全じゃない（神社付近の道がくらい横断歩道がない）	<u>1-1.秘密基地をつくる</u> ①大人も子どももみんなと触れ合える機会をつくる ・多世代交流を目的としたごみ拾い、モルック、自然体験、産直、市民農園での産物の販売、祭り、焼肉（交流×焼肉が一緒）、餅つき、防災キャンプなど 高齢者がレクレーションを多世代と楽しむ ・子ども世代：バスケットゴールの確保、お泊り会、 色々なスポーツを楽しむみたい ・シニア世代：高齢者男性が気軽に参加できる趣味や料理教室、歩こう会、ワイン教室、ワイナリー見学、女子会バスツアーなど 高齢者のことも考えリラックスできる環境もほしい <u>1-2.公民館を活用したい</u> ①地域住民が気軽に交流やイベントをできるように中心となる人・場所・予算の確保する、 公民館だよりを発信する人の確保する ②公民館の使用の簡素化や使用時間の見直し、 レイアウトの変更、スクールバスの停留所などを検討する ③地域食堂、カフェ、フリマ、お裁縫カフェ、各種イベントなど多世代交流、友達作りの場 ④ まなびおみに気軽にいれるスペース、雰囲気にする、ホワイトボードではない大きな黒板、自学自習・勉強スペース、コワーキングスペースの確保 ⑤ 営利活動ができる	▶「遠くの親戚より近くの他人」と思える地域 ▶遠浅小学校があったところのような多世代のつながりがある地域

生活支援	<p>それぞれの世代が今と将来に不安を抱えている</p> <p>▶子ども世代 大人とあえない・外で遊べない（暗くて怖い、電柱がない、公園に時計がない） ・デマンドバスが使いづらく病院などにいけない</p> <p>▶子育て世代 育児の相談や預かる場所がない、共働きで親同士が協力できない人がある、情報を受け取るシステムが必要（特に若い単身者、ノーザン、遠浅市街と源武で情報格差）</p> <p>▶ミドル世代 地域とのかかわりがもてない</p> <p>▶シニア世代 移動手段がない・健康問題・除雪が困難</p>	<p>2-1.子育て世代 ①公民館で放課後の子供の居場所（ご飯も食べれる）、預ける場所、遊び場所の確保する ②公民館付近の通学路の安全確保 ③自治会を超えた情報共有</p> <p>2-2.ミドル世代 ①地域で活躍するため無理のない範囲（やりたい人がやれる状況をつくる）での役割づくり</p> <p>2-3.シニア世代 ①デマンドバスのほか交通手段の確保 ②健康問題や生活の不安に関するサポート ③高齢者宅の除雪が中高生のマンパワーで実現</p> <p>2-4.全世代において ①現在使用されていない施設の再利用（旧保育所・公民館の裏遠浅小学校など） ②熊についてみんなで学び、被害防止対策の検討や駆除しない形での共存、教育など ③子供の預かり、緊急時の対応など互いの世代での問題をマッチングして解決できるような方法を検討する</p> <p>2-5.情報受発信「とあサークル」（公式アカウント）をつくる ①公民館使用やイベント、必要な暮らしの情報などを受発信する ②イベントの手伝い募集をする</p>	<p>▶世代に関わらず、安心して遠浅地区で過ごすための環境作り</p> <p>▶年を取っても安心して暮らせる地域</p> <p>▶遠浅地区で完結できるくらい</p> <p>▶気を使わない・使わせない関係づくり</p>
------	---	--	--

<p>組織 づくり</p> <p>住み続けたい 遠浅について 話し合える場</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども会の運営が困難 ・子供行事の参加が難しくなっている ・自治会は存在していても情報が行き届かない地域がある ・遠浅地区に町議がない ・自治会の高齢化 	<p><u>3-1.既存の組織の検討</u></p> <p>①自治会の課題とニーズの確認、今後の対策検討（自治会の動きを公式ラインで周知など）</p> <p>②子ども会の運営の検討</p> <p><u>3-2.これから新しい組織づくり</u></p> <p>①地域の団体などに取り組むことへの助成、得意な人とニーズをマッチングさせる取り組みの検討</p> <p>②子どもを含めた話し合いの場をつくる</p> <p>③地域のすでにある組織と繋がり、一緒に話し合い、問題解決に関するアイデアを考える</p> <p>④自治会と連携して情報発信をする</p>	<p>▶地域交流の拠点へ</p> <p>▶コミュニティを広げ、人をつなげる組織へ</p> <p>▶小さなコミュニティの一本化へ</p>
<p>※その他（地域単独では解決困難であり、全町的または広域的な観点による検討が必要と思われる地域の課題など）</p>			

今日は3つの分野について話そう

①交流

②生活支援

③組織づくり

各グループでこんな作業をします

● 地域にとって重要 & 緊急だと思うもの2つ ● 自分にとって重要 & 緊急だと思うもの2つ

例えば、①交流

シールを貼った後その理由をグループで話そう&記録しよう

事業分野	地域の課題	実施事業	目標（将来像）
交流 遠浅のコミュニティづくり	住民同士で集まる場がなく 関係性が希薄となっている <ul style="list-style-type: none"> ・どの世代も集まる場所がない ・HUBがない ・情報が細部にいきわたらない ・自治会の担い手不足 ・自治会の高齢化 ・自治会に加入していないの子供会の行事参加困難 ・多世代交流の希薄さ ・シニア世代が地域に取り残される ・イベントを企画する自体が難しい ・公民館の利用の仕方がわからない ・公民館までの道が安全じゃない（神社付近の道がくらい横断歩道がない） 	1-1.秘密基地をつくる <ul style="list-style-type: none"> ①大人も子どももみんなと触れ合える機会をつくる <ul style="list-style-type: none"> ・多世代交流を目的としたごみ拾い、モルック、自然体験、産直、市民農園での産物の販売、祭り、焼肉（交流×焼肉が一緒）、餅つき、防災キャンプなど高齢者がレクリエーションを多世代と楽しむ ・子ども世代：バスケットゴールの確保、お泊り会、色々なスポーツを楽しみたい ・シニア世代：高齢者男性が気軽に参加できる趣味や料理教室、歩こう会、ワイン教室、ワイナリー見学、女子会バスツアーなど高齢者のことも考えリラックスできる環境もほしい 1-2.公民館を活用したい <ul style="list-style-type: none"> ①地域住民が気軽に交流やイベントをできるように中心となる人・場所・予算の確保する、公民館だよりを発信する人の確保する ②公民館の使用の簡素化や使用時間の見直し、レイアウトの変更、スクールバスの停留所などを検討する ③地域食堂、カフェ、フリマ、お裁縫カフェ、各種イベントなど多世代交流、友達作りの場 ④まなびおみに気軽にいれるスペース、雰囲気にする、ホワイトボードではない大きな黒板、自学自習・勉強スペース、コワーキングスペースの確保 ⑤営利活動ができる 	▶「遠くの親戚より近くの他人」と思える地域 ▶遠浅小学校があったところのような多世代のつながりがある地域

遠浅地区計画（協働実行プラン）策定までの流れ

令和6年

9/3

説明会＋
ワークショップ
①

9/19

ワークショップ
②

10/5

ワークショップ
③

協働プラン案
作成

12/10

プラン案
意見出し

令和7年

2/8

実行組織
体制検討

3/1

プラン発表

4月

協働プラン
運用スタート

- 安平町内で「安平地区（R5～）」と「遠浅地区（R7～）」の取り組み
- 地域の人々が地域の実情に合わせた計画策定と実行
- 事務局として集落支援員と地域おこし協力隊、政策推進課が運営サポート
- 予算は年間上限500万円（3年間で繰越可能）、3年間の計画を繰り返す
- 拠点は遠浅公民館

【今年度中にやること】

- ①協働実行プラン（案）の策定
- ②地域運営組織の設立

遠浅に地域を運営する組織をつくります

いつまでも安心して住み続けられる地域を目指し、地域のことは地域で工夫し、協力し合っていくため、地域活動や団体を支える地域運営組織をつくりましょう。

●地域運営組織

《地域の活動や日常の暮らしを支える活動を行います》

集落支援員・地域おこし協力
隊（実働）



これまで地域住民が
ボランティアで担っていた
地域活動を、専属で下支えする
ことで地域の負担を軽減します

地域食堂
やるぞー！

除雪
するぞー！

地域

オーッ！

一部利用料をいただきます

協力隊と住民ボラン
ティアなどでお手伝い

交付金など

地域運営

安平町

・町交付金、集落支援
員・地域おこし協力隊配
置、運営支援など

～ 例えば、こんな地域活動を行います ～

できるところから！

①交流

- ・多世代交流の場づくり（ゴミ拾い、地域食堂、フリマなど）
- ・公民館の有効活用（地域の先生による講座、カフェなど）



②生活支援

- ・高齢者の移動手段
- ・住宅周辺の草刈り・除雪 など

車が必要！



③既存組織との連携、サポート

- ・自治会などの会議運営支援、総会資料作成、行事の共同実施

ゆくゆくは...



④公共空間の管理、活用

- ・公共施設周辺、公園などの草刈りや除雪
- ・旧保育所活用、清掃活動、インフラ維持等



時間をかけ検討！

遠浅地区協働実行プラン [R7~R9] の実施体制（案）

■実施体制（＝地域運営組織）

（仮称）遠浅地区まちづくり協議会

交流事業

生活支援事業

組織づくり事業

その他運営管理事業

構成員

遠浅自治連絡協議会

6自治会（新栄第二、源武、遠浅、東遠浅、遠浅酪農、富岡）

NPO法人、株式会社など

サポート（事務局）

【政策推進課所属】 集落支援員2名、地域おこし協力隊1名



遠浅地区協働実行プラン

ができました！

発表会 開催！

3.1 **土** **14:30 ~ 16:30** **参加費無料！**
遠浅公民館

昨年9月から5回開催してきたワークショップを通じて住民の皆さまの声を集め、遠浅地区協働実行プランを策定しました。住民や関係者が一堂に会し、地域の未来についてのビジョンと具体的な計画を共有する場となります。

遠浅地区のまちづくり、未来を考えることができる機会ですので、ぜひご参加ください。

当日の内容

- ・ 遠浅地区協働実行プランの発表、説明
- ・ 懇親会

※参加される方は、食べ物（お菓子類でも可）を1品お持ちよりください。手作り、既製品どちらでもOK

◆申込み：

電話、メール、もしくは二次元コードでお申込ください

TEL: 0145-22-2751（担当：佐藤）

E-mail: kyoudou-toasa@town.abira.lg.jp

◆申込締切 **2月27日（木）** まで

申込はこちら



公式HP



〈主催〉遠浅地区協働実行プラン策定委員会

〔事務局〕遠浅自治連絡協議会
安平町役場政策推進課

安平町早来大町95番地
TEL: 0145-22-2751 FAX: 0145-22-2026
【担当：政策推進課グループ山口、佐藤】